

## 定例県議会

令和3年6月28日に発生した、八街市で下校途中の小学生の列に飲酒運転のトラックが突っ込み、児童2人が死亡、3人が重軽傷負った事故を受け、質問をいたしました。

## 松崎質問

令和3年の飲酒運転の取締り状況はどうか。

## 担当答弁

令和3年10月末現在における飲酒運転の検挙件数は、前年よりも62件多い894件を検挙したところです。引き続き、飲酒運転の根絶に向けた効果的な取締りを推進します。

## 松崎質問

飲酒運転の根絶に向けて、動画を活用した啓発の取組状況はどうか。

## 担当答弁

県では、インターネットの検索と連動した事業として、「居酒屋」や「駐車場」などにより検索を行った場合に、飲酒運転根絶を訴える動画へ誘導する啓発を実施しています。この事業は、9月に開始し、11月末現在で約1万回の閲覧がありました。引き続き、啓発動画を県のホームページに掲載するほか、あらゆる機会を捉え、広報・啓発に取り組んでゆきます。



追加質問中の松崎県議



安全運転管理者への指導状況



スムーズ横断歩道



ゾーン30



ハンブ

(写真5枚は千葉県警察交通安全緊急対策アクションプランからの引用させて頂きました)

飲酒運転NO  
ポスター

## 松崎質問

飲酒運転根絶に向けた企業や飲食店への取組状況はどうか。

## 担当答弁

「飲酒運転をしない、させない、許さない」という意識づくりを推進することが重要であり、県では千葉県交通安全対策推進委員会を構成する企業や団体等に対し従業員への指導など取組の推進を依頼します。また、県警と連携して、飲食店における利用客への交通手段の確認や、事業所における運転前のアルコールチェック等の自主的な取組を行う飲酒運転根絶宣言制度を実施します。さらに、トラック等の運行が多い事業所を直接訪問し、宣言登録を促してゆきます。

## 松崎要望

今回の八街市の事故においては会社として、安全管理者を選任していなかったとも聞いております。労働安全衛生法において、安全管理者の選任が義務付けられている業種のはずですが、事業所として講習も受けていない状況だったのではないかと考えられます。

中小企業とは厳しい労務環境に置かれていることは十分承知しておりますが、ここはキッチリ抑えるべき項目です。民間企業においては、内部での教育と抑止に努めて頂きたい。そうすれば尊い命が失われることは無いと思います。また、県警には、パトロール、検問といった監視の目をこれまで以上に光らせ、飲酒運転根絶に努めて頂くことを要望しました。



## 千葉県議会議員 松崎たかひろ

1981年5月14日 松崎公昭(元衆議院議員)の三男として柏市に生まれる。柏幼稚園、名戸ヶ谷小学校、柏第四中学校、八千代松陰高等学校卒業。高校在学中はラグビー部に所属。駒澤大学文学部歴史学科卒業後、(株)ジャパンビレージ入社。2019年より千葉県議会議員(現在1期目)。



事務所:277-0005  
千葉県柏市柏3-7-21 椎名ビル407号室  
tel.04-7168-0966 fax.04-7168-0967  
<http://matsuzakitakahiro.info/>  
takahiro.matsuzaki.0514@gmail.com